

鹿児島中央高等学校 40周年愛好歌

「たいせつ」

作詞 鹿児島中央高校 40周年愛好歌制作委員会
作曲 吉俣 良 / 編曲 うまごえ 尚子

The musical score consists of eight staves of music for a single voice. Chords are written above the notes, and lyrics are written below each staff. The chords include D, F#m/C, Bm, F#m/A, G, D/F#, Em7, F#m7, GM7(9), D/F#, Em7, Dadd9/F#, GM7(9), A7sus4, D, C/D, Gm7, Gm7/C, FM7(9), Em7, A9, F#m7, Bm7, Em7, A7sus4, A7, D, F#m7, Bm7, Em, Em(M7), Em7, Em7/A, A, A/G, F#m7, F7, Bm, E9, A7sus4, A7, D, F#m7, Bm, Em, Em(M7), Em7, A7sus4, A7, F#m7, F7, Bm7, Em7, Em7/A, G, D.

たいせつ

作詞 鹿児島中央高校 40周年愛好歌制作委員会
作曲 吉俣 良 編詞 うまごえ 尚子

いつまでも見つめたいと、遠くから願つた背中
無邪気な笑顔、輝いてたひとみ
永遠にこのときがあることを信じてた
開けない扉もどかしく、言えなかつた言葉あるけれど
背中を押してくれたのは、大切なこの場所

いつか思い出すのかな、渡り廊下から見つめた
高く空に吸い込まれたボールを
春が来て夏が過ぎて、秋に会い冬が行くけれど
心は感じていた、春がもう来ていることを

涙ぐんだり笑つたり、声の向こうには友がいた
大切なことは、わかりあうことだと
そうだね、今なら素直にうなづける
叶わない望みはないから、どんな奇跡もおこせるから
キヤンバスに描くのは、果てのないこの想い
いつか思い出すのかな、月明かりの下でひとり
深呼吸して星と話したこと
春が来て夏が過ぎて、秋に会い冬が行くけれど
本当は知っていた、同じ春は来ないことを
いつか思い出すのかな、同じ風が吹いたとき
背中を押してくれた大切な場所
春が来て夏が過ぎて、秋に会い冬が行くけれど
変わらないのはただ、春があふれてたこの場所